

令和5年度

教科別学習シラバス

(学習の手引き)

2年生



府中市立府中第八中学校

学習シラバスの活用方法

2年生の皆さんは、1年生で学習した内容をきちんと習得できたでしょうか。十分に習得できた人は、2年生の学習と平行して、1年生の内容の発展問題をさらに学習して力を付けましょう。また、十分に習得できなかった人は、1年生の教科書の内容にそって、もう一度しっかりと復習しましょう。

学習は、今までに学習した内容の上に、新しい内容を学習して積み上げていきますから、これまでに学習した内容（既習事項）を理解していないと、新しい内容をさらに理解することが難しい教科もあります。

もう一度、一人一人の状況に応じて、今から1年生の復習にしっかりと取り組みながら、2年生の学習を進めましょう。

1年生のうちに家庭学習の習慣を付けることはできたでしょうか。家庭学習は中学校での学習を大きく左右します。また、家庭学習ができていない人は、毎日、机に向かい、宿題は必ずその日のうちにやる習慣を身に付けましょう。最低でも2時間はしっかりと学習しましょう。

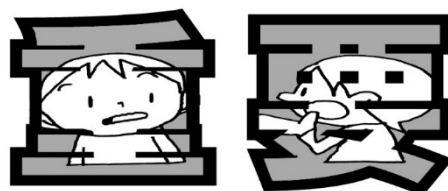
2年生は、中学校3年間のなかでとても大切な学年です。進路のことはまだ早いと考えがちですが、進路とは自分の夢や希望、就きたい職業への実現に向けて進めるためのものですから、学習を通して、自分の将来を考えることは、とても重要です。そして、その夢や希望の実現には、学習することが不可欠なのです。少しずつ、自分自身の将来のことを考えるとともに、そのために学習するのだということをしっかりと自覚してください。

この学習シラバスには、2年生の1年間で、何を学習するのか、また、どのように学習すればよいか分かるように書いてあります。日々の学校での学習や家庭学習の進め方、定期考査に向けての取り組み方など、皆さん一人一人の学習を支援するための内容が、教科ごとに示されています。

よく読んで効果的に活用し、「新たな知識を得る楽しさ」や「分かることの喜び」を実感してほしいと思います。そして、豊かな生活と将来の目標の実現のために、学力を身に付けましょう。

シラバスには次の内容が示されています。

1. 学習の進め方
2. 学習する上での注意事項
3. 家庭学習の進め方
4. 定期考査前の学習の仕方
5. 2年生での学習内容
6. 学習評価



学習シラバス（学習の手引き）を活用しよう

府中第八中学校では、各学年のシラバスを作成しています。この中には各教科の学習に関するさまざまな情報が載っています。しっかり読み込むと自己評価もできるようになっています。

◆学習する内容がつかめます

予習ができます

学習内容	
4月	・世界はうつくしいと ・握手
5月	【学力重点期間】 ・学びて時に之を習ふ ・文章の種類を選んで書こう・熟語の読み方
6月	・作られた「物語」を超えて・実用的な文章を読もう ・説得力のある構成を考えよう ・文法（助詞）
7月	【1学期期末考査】 ・俳句の可能性、俳句を味わう ・和語、漢語、外来語 ・読書を楽しむ
8月	【基礎学力テスト】
9月	・挨拶・故郷・文法（助動詞） ・慣用句、ことわざ、故事成語・漢字の造語力 【2学期中間考査】

シラバスには、「何月くらいにはこの内容を学習する予定です」ということが紹介されています。今やっている授業の内容の、次にやることが分かるので、予習をすることが可能です。

教科によっては、教科書を補足するための教材を使って授業をしたり、教科書に記載されている順番で授業を進めるのではない場合もあります。そういった時にもシラバスを読めば分かるので、予習をして授業に臨むことが可能です。

◆評価方法・内容が分かります

準備や対処ができます

8 評価について			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。【漢字、文法、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項】（	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊に感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評価材料	●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子 など	●授業の様子 ●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子	●授業の様子 ●課題の取り組みや提出状況など、作品の内容 ●発表や話し合いの様子

シラバスには「この内容を評価に用います」「学習内容が理解できたかどうか、この方法で評価します」ということが示されています。「提出物」「授業中の発言」「忘れ物をしない」等、具体的に書いてあるので、家庭に帰って提出物を仕上げたり、持ち物の準備をしたりするなど、準備や対処ができます。

◆学習習慣を身に付けましょう

いつ、どこで学習するかを決めましょう。

時折、SNS等の返信が気になって勉強に集中できないなどということも聞きます。勉強するときは返信しない。9時以降は返信しないなど友達に宣言しましょう。また、テレビやゲーム、動画鑑賞などの誘惑を断ち切ることが大切です。これができれば「根気・やる気・集中力」などを養うことができます。粘り強く学習に向かう姿勢を貫けるといいですね。

1 使用する教材等

教科書	光村図書 国語2
副教材	単元別漢字2・役立つ文法・積み上げ
その他	国語便覧(浜島書店)

2 学習(授業)の進め方

- (1) 文章をしっかりと考えながら読む習慣を身に付けよう。
- (2) 音声表現を工夫して朗読出来るようにしよう。
- (3) 授業では辞書を用意して、積極的に活用する。
- (4) 先生の発問に対しては、その都度考えよう。
- (5) 積極的に発言するようにしよう。
- (6) 人の発言をしっかりと聞き、自分の意見をもつようにしよう。
- (7) 課題やワークシートには、集中してしっかりと取り組もう。
- (8) 作文や作品、発表は、目的や事前説明をよく理解し、工夫を凝らして仕上げよう。

3 宿題(課題)について

課題は真剣に取り組み、提出期限に間に合うようにしよう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- (1) 教科書・便覧・問題集など必要なものはその都度連絡を聞き、忘れないようにしよう。
- (2) 字は丁寧にきちんと書こう。
- (3) 提出物は期限までにきちんと出そう。

5 家庭学習の進め方

- (1) 言葉の意味や難しい漢字は、辞書で調べる習慣を身に付けよう。
- (2) 文章教材は予習が大事。
○基礎：授業の前によくくり返し文章を声を出して読み、しっかりと読めるようにしよう。
○応用：内容について考え、感想や意見をもとう。
- (3) 文法などは復習が大事。問題を解き直し、しっかりと整理しよう。
- (4) 漢字はくり返し書いて覚えよう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 教科書は読んで、授業を思い出す。音読して読みの確認をする。
- (2) ワークシートなどの問題形式のプリントは、自力で解答し、答え合わせをして、不正解だったものは、なぜそうなったのか、なぜ正解がそれなのか、復習する。
- (3) 漢字の読みや書き取りができるか確認する。
- (4) 文法は基本を確認し、くり返し問題を解こう。

7 学習内容

月		月	
4月	見えないだけ アイスプラネット 要点を整理して聞き取る 自立語・付属語	10月	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 モアイは語るー地球の未来 立場を尊重して話し合おう
5月	【学力重点期間】 枕草子 漢字 熟語の構成 文法	11月	平家物語 徒然草 書写 【2学期期末考査】
6月	クマゼミ増加の原因を探る 漢字に親しもう2 メディアに親しもう 文法 【1学期期末考査】	12月	君は「最後の晚餐」を知っているか 読書案内 本の世界を広げよう 書写
7月	短歌に親しみ、味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語 文法	1月	走れメロス 構成や展開を工夫して書こう 文法
8月	読書を楽しむ 本の中の中学生 【基礎学力テスト】	2月	構成や展開を工夫して書こう 話し言葉と書き言葉 文法 【学年末考査】
9月	盆土産 字のない葉書 表現を工夫して書こう 敬語 【2学期中間考査】	3月	国語の学びを振り返ろう 漢字 送り仮名 木 文法

★ 授業は1週間に 4 時間 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
評価材料	●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子 など	●授業の様子 ●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子 など	●授業の様子 ●課題の取り組みや提出状況など、作品の内容 ●発表や話し合いの様子 など
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	中学生の地理 新しい社会歴史
副教材	学び考える歴史 アドバンス中学地理
その他	タブレットのクラスルームの投稿

2 学習(授業)の進め方

「授業を創り上げる」
社会科の授業では、教科書の解説のような授業はしません。
単元とよばれる学習範囲の中で一人一人が課題を追究していき、考えが深まっていくような授業形態をとっています。「基礎を確実に身に付け、考えを深める」社会科だということを意識しましょう。
自分の言葉で社会的な事象を説明できるようになることを目指します。

3 宿題(課題)について

一問一答などの用語・地図暗記シート

4 学習(授業)をする上で注意すること

- ① 絶えず疑問をもつ
常に「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」という意識をもつことは非常に大切なことです。
現代社会は常に動き、そして絶えず変化しています。ニュースや新聞を読み、調べることで様々な社会の出来事に関心を抱き、問題意識や課題意識をもつことが重要になってきます。
家庭学習などで興味をもったことについて調べてみるのもいいでしょう。授業では作業や話し合い活動を重視しています。これらを通じて理解を深めましょう。
- ② プリントを活用しよう。
プリントで授業を進めていきます。プリントを正確に記入し、重要語句をまとめるなどして活用しよう。重要事項(用語だけではありません)にはチェックしておくことが大切です。

5 家庭学習の進め方

学習は①理解する、②理解を深める、③理解をたしかめる、④理解を定着させる、の流れです。
家庭学習の進め方は以下の通りです。
(1) 授業内容を思い出し、思い出すことができなかった語句は復習しておこう。
(2) 単元終了時に発行する一問一答暗記シート(復習プリント)を何度も書いて覚えよう。
(3) 授業後、教科書の終了した部分に必ず目を通しておきましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

日頃の学習+家庭学習の進め方を参照のこと。

7 学習内容

月		月	
4月	○世界の諸地域 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 極地方	10月	・日露戦争 ・日露戦争後の世界 ・明治時代の文化 ・第1次世界大戦
5月	【学力重点期間】 ○歴史的分野 ・戦国時代 ・江戸幕府の成立	11月	○地理的分野 ○日本の地理的特色 【2学期期末考査】 ・日本の地形
6月	○江戸幕府初期の政治と庶民の生活 【1学期期末考査】 ○江戸幕府中期の政治と文化	12月	・日本の気候 ○日本の諸地域 ・九州地方 ・中国四国地方
7月	・市民革命 ・江戸時代後期の政治と文化 ・江戸幕府の滅亡と明治維新 ・明治政府初期の政治	1月	・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方
8月	課題 地図記号の暗記 歴史人物調べ	2月	・北海道地方 ・日本の産業のまとめ 農林水産業 工業 商業 【学年末考査】
9月	・自由民権運動 ・内閣制度と国会開設 大日本帝国憲法 ・日清戦争 【2学期中間考査】	3月	○身近な地域の調査 地理的分野の総復習

★授業は1週間に 3 時間 1年間で 105 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	我が国の国土と歴史に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとしている。
評価材料	・定期考査 基本的な用語や事項の習得。	・定期考査 用語の説明や自分の考えをまとめる。	・課題確認テスト
評価	・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 20%未満		
評定	・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)		

9 その他

<ul style="list-style-type: none"> ・授業をしっかりと受けること。 ・基礎的事項を確認しながら学ぶこと。

1 使用する教材等

教科書	数学の世界 2年 (大日本図書)
副教材	数学ステップワーク2 (大日本図書)
その他	CRE観点別ミニテスト

2 学習(授業)の進め方

分からないことが分かるようになる、できないことができるようになることが勉強です。1時間の授業の中で、何を理解して、何ができればよいのか、授業の中で身に付けたい力を明確にしていきます。

(1) 説明…1日1単元(教科書2ページ程度)の説明を聞きます。

(2) 問題演習…教科書の問題を解いたり、プリントを活用したりして、多くの問題に取り組みます。

(3) 宿題…ワークやプリントなどを授業の進行に合わせて解いていきます。

3 宿題(課題)について

授業の内容に該当する箇所の範囲をワークで解く。進み具合によってプリント等になる場合もあります。

4 学習(授業)をする上で注意すること

1年生では、学習の仕方や授業の受け方をしっかりと身に付けたと思います。2年生では、1年生で学んだ数学をさらに進めて、いろいろな知識や見方・考え方を身に付けていきましょう。自分で考えることを大切にしましょう。

(1) 「気付く力」を身に付けましょう！

すでに学んだことをもとにして、どんなことがわかるかな、どうすればいいかな、どうなるかなと考えながら、学習に取り組みましょう。

(2) 「表現する力」を身に付けましょう！

自分の考えを他の人にわかりやすく伝えようとすることで、すじ道を立てて考える力が身に付いていきます。

(3) 「記録する力」を身に付けましょう！

黒板を写すだけではなく、大切だと思ったこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなどもノートに書き加えましょう。振り返りシートでは、学んだことを言葉で表現し、学びの積み重ねをしましょう。自分で学習内容を把握し、調整することが今後大切になってきます。

5 家庭学習の進め方

(1) ワーク等の課題には時間をかけていねいに取り組む。分からないときは答えを見て考えてもよい。ただし、答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を確認して、その過程も「必ず書く」習慣を身に付けましょう。

(2) 基本的な内容を定着させるためには、ワークのA問題をまず確実にできるようにする。そしてワークのB問題などを繰り返し学習して、標準から発展的な力を養う。わからないところは、答えを見て考え、理解したところで、再度その問題に取り組む。

6 定期考査前の学習の仕方

(1) まずは、教科書を読んで、教科書の問題をやりましょう。

(2) 次は、問題集の問題をできるだけやり、1題ずつできない問題をできるようにしましょう。

(3) 余裕があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジしてみましょう。

できなかった問題は答えを見て終わりにせず、自分でできるようにするまで何度も取り組みましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	・1章 式と計算	10月	・4章 平行と合同
5月	【学力重点期間】 ・1章 式と計算 ・2章 連立方程式 【復習確認テスト】	11月	【2学期期末考査】 ・5章 三角形と四角形
6月	・2章 連立方程式 【1学期期末考査】	12月	
7月	・2章 連立方程式 ・3章 1次関数	1月	・6章 データの比較と箱ひげ図
8月		2月	・7章 確率 【学年末考査】
9月	【基礎学力テスト】 ・3章 1次関数 【2学期中間考査】	3月	・7章 確率

★ 授業は1週間に 3 時間を 1年間で 105 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。 ○事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。	○数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力などが身に付いているか。	○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題を解決しようとする態度が身に付いているか。
評価材料	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業のノート ・ワーク ・小テスト ・レポート など
評価	・ 定期考査・小テスト等、単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 20%未満		
評定	・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点が全てAならば評定は4以上。各観点が全てBならば評定は3になり、各観点が全てCならば評定は2以下となります 各評定の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い)、80%以上90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)		

9 その他

- (1) 定期考査や小テストの再テストや補習を行っていく予定です。
 (2) わからないところはそのままにせず、授業後に質問をしにいきましょう。

1 使用する教材等

教科書	理科の世界2 (大日本図書)
副教材	理科便覧 (浜島書店)
その他	積み上げ理科2 (明治図書)

2 学習(授業)の進め方

<p>理科は、「何だこれ。これどうなっているんだ。何でこんなことになるんだ。」という疑問を明らかにしていくことが大切です。観察・実験を通してその疑問を明らかにしていきましょう。</p> <p>(1) 復習 : 前回の学習を復習し、何の勉強をしているか確認する。</p> <p>(2) 目的 : 今日の学習の目的は何か確認する。(疑問提起)</p> <p>(3) 観察・実験 : 観察・実験を行いデータを得る。</p> <p>(4) 考察・まとめ : データを基に考察し疑問を明らかにする。また、今日の学習のまとめを行う。</p> <p>(5) 問題 : 問題を解いて学習の理解・定着を確認する。</p>

3 宿題(課題)について

<p>・宿題や課題、レポートなどの提出物は、必要に応じて出します。提出期限を守りましょう。</p>

4 学習(授業)をする上で注意すること

<p>・授業中先生の話をしっかり聞き、その話の内容について、自ら考えられるようになろう。(話を聞いて分かっただけでなく、自分の頭で考え理解することです。)</p> <p>・「？」という疑問をもつことが大切です。その疑問を明らかにするために行う、観察・実験に自ら取り組み、正確なデータを得るようにしましょう。正確なデータは、考察を行いやすくし、疑問を明らかにする近道だからです。</p> <p>(1) 先生の話をしっかり聞く。 授業を理解するためには、しっかりと話を聞くことです。話を聞かないと、自分自身が授業に参加できなくなり、授業内容が分からなくなります。また、観察・実験の方法を間違え、事故にもつながります。</p> <p>(2) 観察、実験に自ら取り組みよう。 観察、実験の技量を高めることができ、その結果、正確なデータを得やすくなります。正確なデータは考察を行いやすくし、疑問を解く近道につながります。</p> <p>(3) 授業は、プリントで進めます。しっかりと記入されていないと、家での復習ができません。プリントを正確に記入して、ファイルにとじておきましょう。プリントをとじる理科専用のファイルを必ず購入しておきましょう。(定期的にプリント点検を行います。)</p> <p>(4) 話し合いに積極的に参加しましょう。 話し合いに参加するためには、まず、自分の考えをまとめなければいけません。考えをまとめることは、より学習の理解を深めることにつながります。また、他の人に意見を聞くことにより、自分の学習に対する理解度を高めることもできます。</p> <p>(5) 分からないところは、こまめに質問しよう! 学習の遅れにつながります。</p>

5 家庭学習の進め方

<p>・「復習」は、必ずやりましょう。理解できていないところが確認でき、翌日、質問をすることができるからです。また、学習の定着も図ることができます。</p>

6 定期考査前の学習の仕方

<p>(1) 教科書を読んで、何の勉強したのかを確認する。</p> <p>(2) 授業で使用したプリント、レポート等を見直して理解を深める。</p> <p>(3) 問題集を解く。間違ったところをやり直す。 もしも、自分で答えや教科書、プリントを見ても分からないところがあれば質問する。 ★自分で一度考えることが学習の定着につながります。</p>

7 学習内容

月	鈴木（週2時間）	高田（週2時間）	月	鈴木（週2時間）	高田（週2時間）
4月	・ 化学変化と原子・分子	・ 生物の体のつくりとはたらき	10月	・ 化学変化と原子・分子	・ 生物の体のつくりとはたらき
5月	【学力重点期間】 ・ 化学変化と原子・分子	・ 生物の体のつくりとはたらき	11月	・ 電流とその利用 【2学期期末考査】	・ 気象のしくみと天気の変化
6月	・ 化学変化と原子・分子 【1学期期末考査】	・ 生物の体のつくりとはたらき	12月	・ 電流とその利用	・ 気象のしくみと天気の変化
7月	・ 化学変化と原子・分子	・ 生物の体のつくりとはたらき	1月	・ 電流とその利用	・ 気象のしくみと天気の変化
8月	・ 化学変化と原子・分子 【基礎学力テスト】	・ 生物の体のつくりとはたらき	2月	・ 電流とその利用 【学年末考査】	・ 気象のしくみと天気の変化
9月	・ 化学変化と原子・分子 【2学期中間考査】	・ 生物の体のつくりとはたらき	3月	・ 電流とその利用	・ 気象のしくみと天気の変化

★ 授業は1週間に 4 時間を 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	自然の事物・現象について基本的なことを理解している。観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価材料	①定期考査 ②授業プリントの記入、まとめ方 ③小テスト ④観察、実験の取組み	①定期考査 ②授業プリントの記入、まとめ方 ③観察、実験のデータ処理や考察	①定期考査 ②授業への関心や意欲、授業中の態度や取組み ③授業プリントの全体整理、記入、まとめ方、話し合い ④問題、課題への取組み
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 <p>A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）、80%以上90%未満で4（十分満足できる） 50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）</p>		

9 その他

- ① 実験は、安全第一です。(危険な薬品や器具も使います。)実験の説明はしっかり聞いて、実験方法を理解してください。実験方法が理解できない場合や指示を聞けない場合、事故につながりますので実験は行えません。
- ② 先生と生徒で、楽しい授業をつくりあげましょう。今年度も、よろしく願いたします。

1 使用する教材等

教科書	教育芸術社 中学生の音楽2・3上
副教材	ニューコーラスフレンズ・鑑賞資料集
その他	

2 学習(授業)の進め方

音楽の授業は、週1時間です。1年生の頃とは異なり、1、2学期に2時間にはなりません。ですが、内容は高度になります。毎時間を大切にするためにも、チャイム前着席を徹底し、積極的に声を出していきましょう。また、しばらくの間は背の順で着席しますが、声分けテストの後にパート別に着席します。パートは曲ごとに変わる人もいます。なるべく色々なパートを経験しましょう。

3 宿題(課題)について

長期休業中に出ることがあります。

4 学習(授業)をする上で注意すること

去年1年間で、仲間と協力して元気に歌うことができた2年生。2学期には合唱コンクールがあります。この合唱コンクールに向けて、4月から基礎練習を積み重ね、さらにレベルアップさせ、素晴らしい合唱を作り上げるためにも、次のことをしっかりと行いましょう。

- (1) 先生の話をしっかり聞きましょう！様々な指示をします。必ず指示に従って行動してください。
- (2) しっかりと音を聞いて歌いましょう。
パート練習の時など、ただやみくもに歌うのではなく、仲間の声をしっかりと聞きながら、さらに発声と声量もパワーアップさせて歌いましょう。
- (3) 分からないところは聞きましょう！先生の話が終わってから、質問しましょう。
- (4) 自分の考えを伝えましょう！
- クラス、学年の合唱が上達するために、改善点など、気付いたことを発言しましょう。
- (5) 繰り返し練習しましょう！実技のテストを行います。毎回集中して練習をするようにしましょう。
- (6) プリント類などの提出物は、期限を守って提出しましょう。
- (7) 楽譜の書き込みをしっかりしましょう。

5 家庭学習の進め方

- (1) 【予習】 合唱曲集を良く見て書き込みをしましょう。
- (2) 【復習】 お風呂で歌ってみましょう。
- (3) 【提出物】 毎時間自己診断カードを記入し、提出。楽譜の提出もあります。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) まずは、合唱曲集や教科書に書かれている諸記号を確認し、意味調べ・読み方を覚えましょう。
- (2) 授業で指示されたことをしっかり覚えましょう。
- (3) 鑑賞のプリントを確認して覚えましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲『時の旅人』 合唱コンクール課題曲 鑑賞『小フーガ短調』 	10月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクール 課題曲 合唱コンクールクラス曲 合唱コンクール
5月	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞『交響曲第5番』 オーケストラ鑑賞教室 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱曲『夏の思い出』 鑑賞『オーケストラ鑑賞』
6月	<ul style="list-style-type: none"> 『夏の思い出』 合唱コンクール課題曲 合唱コンクールクラス曲 【1学期期末考査】	12月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲『春に』 歌唱曲『サンタルチア』
7月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクール課題曲 クラス曲 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲『春に』 鑑賞『アイーダ』
8月	<ul style="list-style-type: none"> 宿題：鑑賞等 	2月	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞『アイーダ』 卒業式・入学式に向けて 【学年末考査】
9月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクール課題曲 合唱コンクールクラス曲 合唱コンクール全校合唱曲 	3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式・入学式に向けて

★ 授業は1週間に 時間 1年間で 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいる。
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ☆定期テスト ☆ワークプリント ☆実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ワークプリント ☆実技テスト ☆定期テスト ☆楽譜書き込み 	<ul style="list-style-type: none"> ☆マイマイマイ ☆自己診断カード ☆小テスト ☆レポート
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

実技教科は、実技が第一です。音楽活動に積極的に参加し、互いに高め合う授業にしていきたいと思います。また、2学期は合唱コンクールの関係で音楽は定期テストを行いません。実技テスト中心となります。頑張りましょう。

1 使用する教材等

教科書	日本文教出版 美術2・3上「学びの実感と広がり」／2・3下「学びの探求と未来」
副教材	美術資料「東京の美術」、レタリング辞典
その他	鉛筆、アクリル絵具、参考図書、検索用タブレット端末 等

2 学習(授業)の進め方

課題を設定した意図を説明し、そのための技法の紹介と作例を提示し、制作順序や注意点やおよび工夫する点について具体的に説明します。また、課題に参考となる作品も鑑賞します。1時間の授業の中で発想を広げ、表現力が向上していくように試行錯誤をしながら意欲的に取り組んでいきましょう。

3 宿題(課題)について

作品の構想を練るためにアイデアの幅をを広げたり深めたりします。夏季休業中には鑑賞の課題があります。

4 学習(授業)をする上で注意すること

2年次の授業では、1年生の時に学習した内容をさらに深めて応用する部分があります。過去に学んだことを元にして、今度はどのように表現を工夫すれば豊かな表現ができるのかを追究していきましょう。

- 1 授業での話をしっかりと聞いて理解し、具体的な友達に教えられるくらい覚えられると学び合いにもなり、テストに向けての準備も問題ないでしょう。
- 2 授業で教える内容は今回の制作に必要なだけでなく、今後の制作にも関係する内容が含まれています。分からないところは教科書・資料集やプリントで繰り返し確認し、これからの作品作りに生かしていきましょう。
- 3 作品作りには丁寧に取り組みましょう。自分の考えや思いを形や色に置き換えて伝えられるように制作を進めましょう。

5 家庭学習の進め方

- [予習] 事前にシラバスが渡されるので、参考にしてください。何を作るのかがわかっていると、心構えができ見通しが持てるようになります。
- [復習] 授業で学習した内容をノートにメモしておく、テスト前の復習もしやすいです。
- [提出物] ノートに説明プリントと定期考査の問題・解答・模範解答などを貼って、提出できるように準備してください。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 美術資料集や教科書の、指定された範囲と配布されたプリントをよく確認し、手順や用具および注意点や用語を覚えましょう。
- (2) 鑑賞問題では作者名や作品名を覚えましょう。また、作品の特徴や当時の社会の様子と照らし合わせて理解を深めましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	○オリエンテーション ○「環境ポスター」の制作 ・テーマ絞り込み ・アイディアスケッチ	10月	・本制作
5月	【学力重点期間】 ・下書きの要点復習 ・下書き制作・着彩1	11月	【2学期期末考査】 ・着彩
6月	【1学期期末考査】 ・着彩2	12月	・鑑賞
7月	・着彩完成	1月	○ハイライト描写 ・制作手順説明 ・試作
8月	○美術鑑賞新聞の作成	2月	【学年末考査】 ・本制作 ・着彩
9月	○美術鑑賞新聞の提出 ・「環境ポスター」作品鑑賞 ○紙工作「千変万華」 ・作品紹介、制作手順説明、試作	3月	・鑑賞

★ 授業は1週間に 時間で 1年間で 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> 効果を理解している。 イメージを理解している。 手順を理解している。 用語や注意点、作者名などの美術の知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら主題「テーマ」を発想している。 構想を練っている。 見方や感じ方を広げている。 材料や道具を適切に使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで構想を練っている。 感じ方を広げたり、深めたりしている。 前向きに取り組んでいる。 良い作品を作ろうとしている。
評価材料	定期テスト 本制作の作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察	定期テスト 本制作の作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察	定期テスト 本制作の作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります 各評定の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	最新中学保健体育（大修館書店）
副教材	ステップアップ（大修館書店）、保体ノート（大修館正進社）
その他	

2 学習(授業)の進め方

- (1) 共習、および男女別（2クラス合同）で授業を行い、体育分野と保健分野を学習します。
授業の場所については、体育係が連絡します。
- (2) 授業には、体育着、運動靴（ランニングシューズなど）、体育館履き、教科書「保健体育」（大修館書店）、図解資料「ステップアップ中学体育」（大修館書店）、「中学保体ノート2年」（正進社）、ワークシートなど、連絡されたものを用意します。
- (3) 1時間の授業の流れ
- ① 前の時間の授業が終わったらすぐに更衣する。（男子：2階更衣室 女子：2階更衣室）
更衣室ではしゃべらず、すぐに着替え、荷物を1つにまとめ、すぐに授業場所に行く。
 - ② 授業場所では整列の隊形で待つ。全員そろったら、体育係の指示で準備運動を始める。
 - ③ あいさつ、出欠確認、授業の目標・内容の説明を聞き、理解する。（説明を聞くときは、聞き逃さないよう、集中して聞くこと。）
 - ④ 集合や移動は速やかに行い、活動時間を確保できるようにする。（行動の基本は駆け足。）
 - ⑤ 授業の最後にはもう一度整列し、けが人などの確認とその時間の反省、次時の確認を行い、あいさつをしてから終了。
 - ⑥ 活動終了後も迅速に着替えを行い、次の授業の準備をする。（次の授業に遅れない。）
- (4) 授業後は学習カードで学習内容を振り返り、ポイントを整理し、自分の課題や、記録、次回の目標などを記入します。（体育係が回収して、提出してもらいます。）

3 宿題(課題)について

必要に応じて連絡します。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- 2年生は1年生から引き続き基礎的な技能や知識を身に付け、3年生へとつなげていきます。より高い技能や知識を身に付けるために大切なことは「授業規律」です。着替え・整列・体操・集合・あいさつといった、毎時間行うこと、「授業規律」を大切にして授業を進めていきます。
- (1) 正しい身なりをする。半袖シャツはハーフパンツに入れる。（タイツ、スパッツははかない。けが防止のため、靴下を必ず履くこと。）髪が肩にかかる場合はゴムで結ぶ。
爪は定期的に切って短くしておく。
- (2) 用具を大切に、準備・片付けは協力し、率先して行う。
- (3) 見学は、生徒手帳にその理由を記入し、保護者の認印を得た上で、授業開始前に担当の先生に報告・提示します。養護の先生の指示があった場合は、その旨を連絡します。見学者は、体育着またはジャージに着替え、先生の指示を受けます。（特別な理由がない限り、標準服での見学は認めません。）
- (4) 体育着など授業に必要なものを忘れてしまった場合は、できるだけ早く先生に申し出て、指示を受けます。勝手に友達に借りてはいけません。

5 家庭学習の進め方

- (1) 特にありませんが、体調を整えていないと、けがにつながることもあるので、食事や睡眠など規則正しい生活を心がけること。特に、朝食を必ずとるようにする。朝食を抜くと貧血や気持ち悪くなることの原因になります。
- (2) 日頃から運動やスポーツ、健康や安全に関心を持ち、体を動かす機会をたくさん作りましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 毎時間の授業の中での先生の話を中心して聞き、学習カードを活用しながら、ポイントをまとめておくことが大切。
- (2) 教科書やステップアップ中学体育のテスト範囲となっている内容についてはしっかり理解しておく。
- (3) 授業で使用した学習カードやプリントを大切に保管し、内容を見直しておく。

7 学習内容

月		月	
4月	○体づくり（体カテスト） ○保健	10月	○ダンス ○保健
5月	【学力重点期間】 ○陸上競技（短距離・リレー） ○保健	11月	○陸上競技（長距離走） ○保健 【2学期期末考査】
6月	○球技 ○保健 【1学期期末考査】	12月	○武道 ○保健
7月	○水泳 ○保健	1月	○球技 ○保健
8月	【基礎学力テスト】	2月	○球技 ○保健 【学年末考査】
9月	○水泳・器械運動 ○保健 【2学期中間考査】	3月	○球技 ○保健

★ 授業は1週間に 3 時間 1年間で 105 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	○運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けている。
評価材料	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
副教材	ハンドノート技術分野（B生物育成の技術）
その他	生物育成材料（かいわれ大根栽培）・LED 製作材料（LEDライト）

2 学習(授業)の進め方

- (1) 技術・家庭の学習
 - ・ものづくりなどの技術によって、よりよい生活や社会を实践する力を学習します。
- (2) 技術分野の学習について
 - ・「材料と加工」「生物育成」「エネルギー変換」「情報」の4つの技術の内容を学習します。
- (3) 学習の流れについて
 - ・知識や技能を身につける。
 - ・問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する。
 - ・学習したことを社会や生活に生かす。

3 宿題(課題)について

- ・ワーク（ハンドノート）の課題が毎時間あります。授業開始時に必ず提出しましょう。
- ・調べ学習やレポート課題、発表課題などがあります。指定された日に必ず提出しましょう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- (1) 授業前
 - ① 前日の授業の連絡を各自メモし、当日忘れずに持ってくる。（係の連絡頼りにしない）
 - ② 基本用具（筆記用具・定規・教科書・ワーク・緑ファイル）は、毎時間忘れずに持ってくる。
 - ③ チャイム前に着席し、静かに授業準備（配布物や記入）・事前学習・ワークの丸つけなどをする。
- (2) 授業中
 - ① 指定された席に座り、移動せず、集中して授業を受ける。
 - ② 授業で説明されたことや学習内容、必要なことは、積極的にメモ（記録）する。
- (3) 実験・実習中
 - ① 先生からの説明やプリントの指示を理解して、一人一人で行う。（人のマネは学習ではありません）
 - ② 機器や機械を安全に使用し、けがや事故のないようにする。
 - ③ タブレット使用時は、八中ルールを守る。（特に個人使用、充電済、ログイン済、他機能は使用しないなど）
 - ④ 指定された期間で、ていねいに、能率よく行き、授業内で完成させる。（補習等は行わない）
 - ⑤ 指定された時間（10分前）で、一斉に片付けをする。（全員で片付けし、作業はしない）
- (4) 授業終わり
 - ① 静かに授業の振り返り用紙を記入し、提出する。（チャイムまでに済ませる。持ち帰らない）
 - ② 次回の授業道具をメモする。
 - ③ あいさつ後は、速やかに退室する。（次のクラスが入れるようにする）
- (5) 欠席
 - ① 欠席した人は、次の登校日にクラスの人から授業連絡を確認しましょう。（プリント類も受け取る）
 - ② 班に欠席者がいる場合は、配られたプリントを教室の机の中に入れてあげましょう。（メモ書きも）
 - ③ 班に欠席者がいる場合は、振り返り用紙に「欠席」と記入する。（後日、本人も確認してください）
 - ④ 欠席して提出物が出せなかったときは、次の登校日に速やかに提出しましょう。
- (6) その他
 - ① 授業中、基本的に教室を出ることはできません。（授業道具忘れがないか、授業前に確認しておきましょう）
 - ② 技術室内は、危険なので走らない、動き回らない、触らないでください。（フェンスより後ろに行かない）
 - ③ 自分の作品、他人の作品を大切に。持ち帰り後も家庭で活用しましょう。
 - ④ 提出物の忘れは、基本的に次の授業で提出してください。（欠席の場合の申し出、学期末は早めます）

5 家庭学習の進め方

- (1) 宿題について
 - ・ワークや課題をただやるだけでなく、理解を深めながら進めましょう。
- (2) 予習について
 - ・前日の授業でやったこと、次の日に何をやるか、プリント類を事前に見返しておきましょう。
- (3) 定期考査に向けて
 - ・直前になって始めず、余裕をもって準備をしておきましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 直前になって始めるのではなく、余裕をもって準備をしておきましょう。
- (2) ワークやプリントを見返し、語句や数値、機器の使い方などを覚えましょう。
（毎時間の記入、丸つけ、提出をしてテスト直前になって困ることがないようにしましょう）
- (3) 授業全体を振り返り、考え方や工夫のしかたが述べられるようにしましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	技術分野のガイダンス 生物育成に関する技術（１） ・技術の特徴	10月	エネルギー変換に関する技術（２） ・電気回路について ・電気機器の安全
5月	生物育成に関する技術（２） ・育てるための計画と管理	11月	エネルギー変換に関する技術（３） ・LEDライトの製作 【2学期期末考査】
6月	生物育成に関する技術（３） ・かいわれ大根栽培 【1学期期末考査】	12月	エネルギー変換に関する技術（４） ・技術の評価と活用
7月	生物育成に関する技術（４） ・技術の評価と活用	1月	情報に関する技術（１） ・情報セキュリティ技術 ・情報の安全
8月		2月	情報に関する技術（２） ・デジタル作品の製作 【学年末考査】
9月	エネルギー変換に関する技術（１） ・電気を作るしくみ ・電気を供給するしくみ	3月	情報に関する技術（３） ・技術の評価と活用

★ 授業は1週間に 1 時間 1年間で 35 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会のに向けて、課題の解決を主体的に取り組み、振り返って改善したり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価材料	* 定期考査 * 作品（かいわれ栽培） * 作品（LEDライト） * 調べ学習	* 発表 * 定期考査 * 作品（かいわれ栽培） ・ 作品（LEDライト）	* 振り返りシート * ワークシート * 学習予定表
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）20%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	開隆堂
副教材	
その他	学習ファイル（1年次使用していたもの）（のり、はさみ、裁縫道具）

2 学習(授業)の進め方

学びは全て、自分の『生活を豊かにする』ことに繋がります。現在だけでなく、将来のためにも積極的に学びましょう。

- ・座学：授業の「ねらい」について、自らの考えを深め、共有し、正しい知識や技能の定着を目指します。
- ・実技：裁縫や調理などの実習を通して、実生活で生かせる力を身に付けていきます。

3 宿題(課題)について

家庭での実践課題は、自分の力でじっくりと取り組みましょう。
提出物等は必ず期限を守って提出しましょう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- ① 授業開始のチャイムと同時に始業のあいさつができるよう、移動を早くしましょう。
- ② 実習では、説明と作業の素早い切り替えを意識しましょう。
- ③ 実習教室（被服室・調理室）では、勝手に室内のものに触れず、ルールを守りましょう。
- ④ 作業中は安全のため、集中して行い（無言）、自席で作業に取り組みましょう。
- ⑤ 提出物の期限は必ず守りましょう。
- ⑥ 積極的に発言し、互いに高め合える授業をつくりましょう。

5 家庭学習の進め方

学習内容を家庭で実践することが大切です。習ったことが自分の生活でどのように生かせるかを考え、その日から家で実践しましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- ① 教科書の文章をよく読み、内容を整理しよう。
- ② プリントを見て、授業で説明された内容を思い出し、ポイントをまとめよう。
- ③ プリントの空欄のみ暗記するのではなく、内容をしっかりと理解しよう。
- ④ 繰り返し、学習しよう。

7 学習内容

月		月	
4月	C消費生活・環境 3.消費者被害と消費者の自立	10月	4. 日常食の調理 日常食の調理
5月	【学力重点期間】 4.持続可能な社会	11月	5. 日常食の調理 【2学期期末考査】
6月	B食生活 1. 食事の役割と食習慣 【1学期期末考査】	12月	6. 献立づくり
7月	2. 中学生に必要な栄養を満たす食事	1月	7. 持続可能な食生活
8月	【基礎学力テスト】	2月	B住生活 1.住まいのはたらきとこちよさ 【学年末考査】
9月	3. さまざまな食品とその選択 【2学期中間考査】	3月	2.安全な住まいで安心な暮らし

★ 授業は1週間に 時間 1年間で 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価材料	* 定期考査 * 作品 * 技能テスト	* ワークシート（タブレット回答） * 発表 * 定期考査	* 学習ファイル（振り返りシート） * ワークシート * 班活動
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点が全てAならば評定は4以上。各観点が全てBならば評定は3になり、各観点が全てCならば評定は2以下となります 各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

- ・ 忘れ物があると、学習内容に支障がでてしまいます。特に実習では、忘れずに道具を準備して下さい。
- ・ 裁縫や調理は基礎、基本の技能から学習します。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。繰り返し学習する事で力が身に付きます。3年間で力の定着を目指しましょう！

令和5年度
シラバス

学 年	第2学年	教 科	外国語（英語）
--------	------	--------	---------

担 当	尾本 昌克 曾原 唯
--------	------------

1 使用する教材等

教科書	Here We Go! English Course 2
副教材	
その他	Eライブラリ

2 学習(授業)の進め方

- 語い(単語 連語) 基本英文のトレーニング
- 英語のルール(英文法の学習)
- 教科書の本文の読解
- リスニング・スピーキング活動
- 自己表現活動

3 宿題(課題)について

単語練習シート 音読筆写シート ワークシート スピーチ原稿の作成 など

4 学習(授業)をする上で注意すること

- 授業に全力で取り組むこと。家庭学習を通じて授業で学習したことを練習すること。
- <知識・技能>
 - ・語い(単語 連語)をしっかりと覚える(単語リスト 単語練習シート)
 - ・英語のルール(英文法)を、英文を書く取り組みを通じてしっかりと覚える(解説編プリント 授業のワークシート eライブラリの活用)
 - ・教科書何度も音読して、英文を自分のものにすること(デジタル教科書の活用 音読筆写リスト 音読筆写シート)
- <思考力・判断力・表現力>
学習した知識・技能を活用して、英語で表現したり理解できるようになる。
- 学習したことがわかるプリントは、黄色のファイルに入れて卒業まで保管すること。(解説編プリント、Vocabulary List 音読筆写リスト)

5 家庭学習の進め方

- 単語練習や基本英文の練習を、練習シートを活用して取り組み、英語を覚えること。
- デジタル教科書を活用し、家庭でも授業で取り組んだ練習を行うこと。
- Eライブラリを活用して、英文法や語彙の習得に努めること。

6 定期考査前の学習の仕方

日頃の学習+家庭学習の進め方を参照のこと。

7 学習内容

月		月	
4月	○ Unit 1 Hajin's Diary ・ ある日の日記を英語で書くことができる。 ・ 過去形、過去進行形、接続詞when	10月	○ Daily Life 3 (レストラン) 4 (道案内) ○ Unit 5 Earthquake Drill ・ 防災バッグの中身について英語で伝えることができる。 ・ 助動詞
5月	【学力重点期間】 ○ Unit 2 Basketball Tournament ・好きなことやしたいことを伝えることができる ・ 動名詞、不定詞(名詞的用法)、接続詞that	11月	○ Daily Life 5 (イベントのお知らせ) ○ Daily Life 6 (体調不良) 【2学期期末考査】 ○ Unit 6 Work Experience
6月	○ Daily Life 1 (電話) 【1学期期末考査】 ○ Unit 3 Plans for the Summer ・ 予定を英語で知らせることができる。 ・ 未来を表す文、接続詞if	12月	・ 職場体験について英語で報告することができる ・ 不定詞(副詞的用法)、接続詞because ○ Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru ○ World Tour 2 (世界を舞台に働く人)
7月	○ Daily Life 2 (アナウンス) ○ World Tour 1 (いろいろな単位)	1月	○ You Can Do It! 2 (職業診断のチャート作成) ○ Unit 7 Amazing Australia ・ 町のとおきのおきの情報を伝えることができる ・ 比較構文
8月	○ Let's Read 1 Sukh's White Horse ○ You Can Do It! 1 (我が町観光プラン)	2月	○ Unit 8 Staging a Musical ・ 私のお気に入り英語で紹介することができる ・ 受け身、第5文型、tell / want +人+不定詞 【学年末考査】
9月	○ Unit 4 Tour in New York City ・ ミニ観光プランを英語で作ることができる ・ There is ~、第4文型、不定詞(形容詞的用法) 【2学期中間考査】	3月	○ Daily Life 7 (観光案内) ・ 8 (音声ガイド) ○ Let's Read 3 Emojis ○ World Tour 3 (世界遺産めぐり) ○ You Can Do It! 3 (日本の面白いもの紹介)

★ 授業は1週間に 4 時間 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> 単語・連語・その発音 英語のルール(英文法) 上記を用いて英語で表現する技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 英語の知識を用いて、自分の伝えたいことを相手と言い合うことができる。 英語の知識を用いて、自分の伝えたいことを(スピーチ等で)話すことができる。 英語の知識を用いて、自分の伝えたいことを書いてまとめることができる。 英語の知識を用いて、まとまった内容の要点を捉えたり、必要な情報を得たりすることができる。 英語の知識を用いて、様々な内容の英語で書かれた文章の要点や必要な情報を得ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 外国語や外国文化に対する理解を深めようとする。
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 スピーチや特定の場面における対話の実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 単語テスト 単元振り返りテスト スピーチにおける量 学習への取り組み
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 20%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)		

9 その他

・ 授業に全力で取り組むこと。

2年 組 番 氏名
